

No. 29

区議会だより

足立区議会事務局

☎(882) 1111



昭和49年 1月一部開館予定の足立区教育センター(仮称)(竹の塚2丁目)

議長・副議長

就任のあいさつ

私どもは、7月25日の本会議において、議員各位の推挙により議長並びに副議長に就任いたしました。議長並びに副議長に就任の重大さを痛感しております。ご承知のとおり、急激な人口の増加に伴って、本区がこれからも積極的にとりくまなければならない諸問題として、



議長 富澤 孝之



副議長 鈴木 進

学校、保育園、児童館、老人館等の建設、日立製作所跡地対策および森林公園の建設促進等懸案事項が山積している現状であります。もとより長期計画の答申に基づいて住民の立場から考え、住民

の要求を適切には握し、実施計画に反映するよう強力で推進していく所存であります。このようなき、この重責を十分自覚し、議会の自主性を尊重し、執行機関とも密接な連携を保ちつつ、区、区議会が一体となり、よりよい足立区建設のために全力を傾注する覚悟であります。

今後とも、区民の皆様の一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

議長・副議長など改選

第2回定例会

昭和48年度第2号補正予算や各学校の増改築工事請負契約などを審議する第2回定例会は会期40日間(都議会選挙のため6月24日から7月9日まで休会しました)で6月13日開

問や区長から提案された35議案、議員提案6議案、区民から提出された請願・陳情71件を審議しました。

また正副議長の改選、各委員会委員の入れ替えなどを行なうため会期を3日間延長して7月25日に閉会しました。

第1日(6月13日) 区長の提案説明ののち、監査委員から昭和48年度定期監査結果の報告と、各派の代表質問を4議員が行ないました。



議長選挙開票風景

第2日(6月14日) 前日に引き続き、4議員から質問が行なわれたのち昭和48年度足立区一般会計補正予算(第2号)ほか2件の提案説明があり、28名

の委員をもって構成する予算特別委員会に付託されました。

また足立区職員条例の一部を改正する条例ほか14件の議案と3件の請願は所管の委員会に付託されました。

議員から提案された足立区議会事務局条例の一部を改正する条例は全会一致で可決されました。

第3日(6月23日) 予算特別委員会で慎重に審査されていた昭和48年度足立区一般会計補正予算(第2号)ほか1件の予算は委員長から審査の経過と結果が報告されたのち全会一致で原案のとおり可決しました。

つづいて各委員会と審査されていた議案が審査報告書のとおり原案を可決したのち自己利用宅地・貸地(330平方メートル以下)の固定資産税減免等に関する意見書ほか1件が議員提案されいずれも原案を可決しました。

最後に近藤信好君から区議会議員の辞職願いが提出され、辞職を許可すること

に決定しました。第4日(7月20日) 区長から推

契約議案 (25件)

- 区立弥生小改築工事請負契約
区立竹の塚小増築工事請負契約
区立北鹿浜小増築および体育館新築工事請負契約
区立青井小体育館新築工事請負契約
区立中川北小増築工事請負契約
区立北三谷小増改築工事請負契約
区立亀田小改築工事請負契約
区立千寿第七小改築工事請負契約
区立宮城小改築工事請負契約
区立淵江小改築工事請負契約
区立保木間小改築工事請負契約
区立五反野小改築工事請負契約
区立東加平小増築工事請負契約
区立花保小増築及び体育館新築工事請負契約
区立東伊興小増築工事請負契約
区立梅島第一小分校(仮称)新築工事請負契約
区立江北中増築工事請負契約
区立第八中増改築工事請負契約
区立第十四中増改築工事請負契約
区立第九中改築工事請負契約
区立第十三中改築工事請負契約
区立青井中体育館新築工事請負契約
区立花畑中増築工事請負契約
区立蒲原中改築工事請負契約
区立第四中改築工事請負契約

特別区道路線の認定 (1件)
島根二丁目2497-1先 延長 151.00 m

可決した議案

昭和48年度足立区一般会計補正予算(第2号)

保育園用地購入費、下水道枝線整備、

議員提出議案

Table with columns: 議案, 会派名, 賛成, 反対, 退場. Rows include items like '出入国法案撤回に関する意見書' and '自己利用宅地(貸地)の固定資産税減免等に関する意見書'.

名彦安君の教育委員会委員の任命の同意
鈴木銀蔵君の監査委員の選任同意が出され教育委員は全員で、監査委員は多数で決定しました。

つづいて各委員会で審査されていた議案および請願について審査報告書が提出されたのち、委員会の報告書と原案を可決したのち、会期を三日間延長することを決め散会しました。

第5日(7月25日) 藤永勇議長の辞職許可を決定したのち、

議長選挙を行ない富沢孝之君が当選就任しました。つづいて清水大蔵副議長の辞職許可を決定したのち副議長選挙を行ない鈴木進君が当選就任しました。

ひきつづき竹ノ下資夫君、白石恭三君の監査委員退職にともない区長より八田正和君、北詰光男君の同意が求められ、いずれも起立多数で決定しました。

次に農業委員の茂出木市蔵君、石鍋源一郎君、田幡義雄君の解任請求を決定しあらたに鈴木秋蔵君、岡安孝明君、渡辺修次君を推せんすることに決定しました。

このあと各常任委員会委員、各特別委員会委員の入れ替えが行なわれました。

議員提出の日立製作所亀工場地利用に関する意見書ほか2件は提案説明ののちいずれも原案のとおり可決し第2回定例会を閉会しました。

花畑地区区民センター建設費などがおもなもので2億8,772万7千円です。これでご一般会計の予算総額は281億7,209万3千になりました。

昭和48年度足立区用地特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ2億50万円を追加するものです。これで予算の総額は5億100万円になりました。

足立区職員条例の一部を改正する条例
職員の定数を増員するため改正するものです。

足立区組織条例の一部を改正する条例
多様化する行政需要に対処するため、環境部を新設するものです。

足立区議会事務局条例の一部を改正する条例

区議会事務局に主幹(部長)を置くことができるようにするため改正するものです。

足立区議会委員会条例の一部を改正する条例

組織条例の一部改正にともない、常任委員会名称および所管事項を変更するため改正するものです。

足立区立保育所
条例の一部を改正する条例

西保木間二丁目17番5-10号に西保木間保育園を新設するため改正するものです。



足立区議会委員会名簿 (昭和48年 9月1日現在)

委 員 会 名	委 員 氏 名 (◎委員長 ○副委員長)
総 務 委 員 会 (定数9名)	◎石鍋源一郎 ○内藤寅三郎 ○鈴木伸二 森 信 雄 井上市三郎 榊原 茂 滝井兼彦 藤木二幸 八田正和
区 民 環 境 委 員 会 (定数9名)	◎永島安三 ○鈴木秋蔵 ○原 子 東 大 神 田 貞 英 鈴 木 武 次 若 月 勇 白 石 恭 三 鈴 木 進 宮 原 進
厚 生 委 員 会 (定数9名)	◎渡辺康信 ○古 性 直 ○岡安孝明 鈴木次夫 鈴木金治郎 清水大蔵 浅見喜一郎 立岡正子 白石正輝
土 木 委 員 会 (定数10名) (欠員1名)	◎小久保雅捷 ○しなし清治 ○林 信 男 遠 峰 富 次 川 崎 忠 次 郎 倉持伝次 佐々木弘吉 神谷康信 渡辺修次
建 築 委 員 会 (定数9名)	◎田幡義雄 ○白村益治郎 ○石川留吉 茂出木市蔵 富澤孝之 吉田小重郎 近藤弥之吉 常田 進 菅原 勲
文 教 委 員 会 (定数10名) (欠員1名)	◎中川外行 ○向後昭三 ○五十嵐英生 田口三五郎 藤 来 勇 佐藤英一郎 北詰光男 竹ノ下資夫 安達正興
区 制 調 査 特 別 委 員 会 (定数14名)	◎榊原 茂 ○佐藤英一郎 ○白石恭三 田幡義雄 大神田貞英 鈴木武次 鈴木秋蔵 永島安三 近藤弥之吉 岡安孝明 五十嵐英生 小久保雅捷 中川外行 白石正輝
都 市 計 画 特 別 委 員 会 (定数15名)	◎川崎忠次郎 ○滝井兼彦 ○宮原 進 藤 来 勇 原 子 東 倉持伝次 清水大蔵 森 信 雄 井上市三郎 白石恭三 浅見喜一郎 常田 進 佐々木弘吉 渡辺康信 神谷康信
災 害 対 策 特 別 委 員 会 (定数14名)	◎吉田小重郎 ○鈴木次夫 ○浅見喜一郎 内藤寅三郎 遠 峰 富 次 茂出木市蔵 原 子 東 白 村 益 治 郎 若 月 勇 永 島 安 三 しなし清治 古 性 直 神谷康信 渡辺修次
交 通 対 策 特 別 委 員 会 (定数14名)	◎若月 勇 ○田口三五郎 ○菅原 勲 藤 来 勇 鈴 木 秋 蔵 北詰光男 石鍋源一郎 吉田小重郎 しなし清治 竹ノ下資夫 宮原 進 渡辺康信 神谷康信 白石正輝
首 都 高 速 道 路 対 策 特 別 委 員 会 (定数14名)	◎近藤弥之吉 ○清 水 大 蔵 ○竹ノ下資夫 田幡義雄 鈴木金治郎 川崎忠次郎 石川留吉 古 性 直 安達正興 八田正和 立岡正子 五十嵐英生 林 信 男 白石正輝
工 場 跡 地 対 策 特 別 委 員 会 (定数16名)	◎鈴木金治郎 ○倉持伝次 ○佐々木弘吉 田口三五郎 佐藤英一郎 白村益治郎 森 信 雄 井上市三郎 鈴木伸二 石鍋源一郎 石川留吉 榊原 茂 藤木二幸 常田 進 向後昭三 渡辺修次
公 有 地 管 理 調 査 特 別 委 員 会 (定数16名)	◎茂出木市蔵 ○立岡正子 ○藤木二幸 鈴木次夫 大神田貞英 内藤寅三郎 遠 峰 富 次 鈴木金治郎 鈴木伸二 安達正興 向後昭三 古 性 直 林 信 男 小久保雅捷 菅原 勲 佐々木弘吉
運 営 委 員 会 (11名)	◎藤 来 勇 ○岡安孝明 ○白石恭三 井上市三郎 安達正興 近藤弥之吉 清 水 大 蔵 古 性 直 小久保雅捷 浅見喜一郎 榊原 茂

代表質問



清新会 刷新同志会

井関農機跡地に高校用地を確保せよ

△高校誘致運動は、かねてより関係機関に働きかけているところであるが、このたび井関農機の地方移転に伴い、跡地を高校用地にぜひ確保されたいが見通しを



▼当跡地は三菱商事が買収したわけであるが、区が強く交渉したところ敷地の半分を公示価格で都に売却することである。なお昭和50年4月には24学級の普通高校が開校予定である。

区画整理組合保有の公園用地を早急に確保せよ

△足立区は、すでに区画整理事業により各組合から広大な公園用地などの移管を受けているが、淵江組合と花畑東部組合に関連する公園用地については、いつ区に引き継がれるのか。

▼すでに各組合から公園用地などを区に提供していただいているが、淵江組合については至急交渉し早い機会に区に移管したい。

学校長は信念をもって学校運営に当れ

△学校長は本来「校務を掌り、所属職員を監督する」と学校教育法第二十八条に明記されているが、聞くところによると運営は職員会議の多数決で決定されているという。この状況は教育の崩壊の道につながると思うが見解を示せ。

▼職員会議でまとまったものは十分尊重されるのが望ましいが、職員会議はあくまでも補助機関であるので、採否は校長が判断するよう校長を指導している。

ゴミの積み替え場所はどこになるのか

△足立清掃工場は解体後2年間使用不能となるが、その間、代替としてゴミを積み替えて処分するところと聞かす場



所と住民の感情についてお聞きしたい。

▼当初清掃工場の東側地区を買収すべく交渉に当たったが、残念であるが不調に終わったので、改めて別の地区を鋭意買収すべく努力中である。なお住民の方々も事情を了解してくれるものと考えたい。

夏休み中の生徒、児童の指導方針を示せ

△夏休み中に、子供たちを努めて自然にふれさせることは大事ななことと思うが区の見解を示せ。

▼夏休みは、子供の健康上及び情操教育にも大事な期間であるので、学校行事を中心に進めるべきであると考えたい。

自民党

足立区議団

区長の政治的指針を問う

△区長選任に当り、共産党足立地区委員会との間にとり交わされた協定書の中の第一項「革新都政と協力し云々」、第八項「区行政執行に当り重要な施策や重要人事、予算立案に関し、あらかじめ協議する」とある。区長は足立区に長年奉職をされ、その間、一党一派に偏せず、その公正な区行政を執行してきた歴代区長に任せてきたが、歴代区長のそれと全く同じであると思う。長谷川区長の政治的指針を明確に示せ。

▼私が選任されたときには、自民党の一部と公明、社会、共産、民社の方々のご支援を得ている。私の考え方は変っていないが、変転する時勢と推せんされた方々の気持ちを察し、中立的な立場をとつたわけで、あえて申し上げるならば区民党と申し上げたいと思う。また区民本意の区政を実施したい。協定書については

署名捺印したことは事実であるが協定書の効力についてはまだ実現していません。

老人クラブに助成金を増額せよ

△老人クラブ助成規定を現在の制度に加えて、足立区独自のものを作り、その対象の増大と、大きなクラブに対する個人単価の引き上げについて意思があるのか示せ。



▼矛盾点もあるので実情に合うよう検討していきたい。

私道の街路灯設置に助成金を

△区内の私道も私道整備助成の制度が設けられ、現在ではほぼ整備完了されつつあり、その予算も減額されてきているが生活環境の格差解消の意味からも私道の街路灯建て替及び新設について助成制度を設ける意思があるか見解を聞きたい。

▼全般的に助成制度を決めるのは困難であるが、防犯上および交通事情のためのものについては検討していく必要がある。

上総湊養護学園を臨海学園として再利用出来ないか

△先の運輸省発表によれば、レジャー時代の要望に基き海浜整備地区の一つとして、上総湊海岸を指定した。この際は国及び千葉県に働きかけ恒久的に足立区が利用出来る臨海設備を造り、臨海学園を、再開する意思があるか示せ。



▼昭和41年以来砂の流出及び海水汚染のため臨海学園としての利用を中止しているが、国の発表では本年度より海浜整備を行うとのことであるので、国及び千葉県と連絡を密にし、完全な海水浴場になったときは直ちに使えるようにしたい。

公明党

堤防上にサイクリングコースを

荒川堤防上の道路を日曜、祭日に自転車専用道路として開放しているが、区内の荒川堤防上の道路や河川敷を利用してサイクリングコースを設置するよう関係当局に働きかけよ。



▼交通や道路状態から危険防止の点を十分考える必要があるので関係機関と協議し、できるだけ趣旨に沿うよう努力したい。

伊藤谷橋の建て替えを要請せよ

△補助136号線の綾瀬川架橋が完成すると五兵衛橋は閉鎖されるが、伊藤谷橋についても台風、異常潮位などにより危険な状態であるので建て替えを都に對し要請せよ。

▼伊藤谷橋についても補助136号線の架橋により閉鎖になると思うが、現場の状況を見ますと閉鎖が困難であるので橋脚を高くするよう要望したい。

寝たきり、身体不自由の老人世帯に火災感知機を

△当区には寝たきり、身体不自由などにより通報できない老人が102名いる。これら恵まれないお年寄たちを火災から尊い命を守るため、一日も早く火災感知機を

設置せよ。

▼とりあえず寝たきり老人に對し福祉ペルを取付けている。火災感知機についてはどの程度の効果があるか疑問であるので、他区の実施状況を十分検討したい。

環状七号線にモノレールを

△最近環状七号線の交通量の増加によりバス路線の運行に支障をきたしている。この交通問題を解決することが堤北地域住民の願いである。安価な建設費と短い工事期間でその上無公害、交通無事故である環状モノレール建設こそ区民の足を確保する道であるので、区民の先頭に立つて都に對し強力に推進するよう働きかけよ。

▼すでにモノレール

に関する調査研究会に對し、環状七号線にも誘致したい旨の要望書を出しているが、今後も足立へ誘致するよう積極的に運動を進めたい。

区営小売市場を設置せよ

△一般世帯は大幅な物価上昇で家計が圧迫されているが、これは大手商社やスーパーなどの買い占め、売り惜しみが最大の原因である。物価安定対策を推進するため区営小売市場を設けよ。

▼現在鹿浜五丁目の団地の中に昨年6月から東京都の小売市場協会で設立した小売市場があるので、その運営経過などを見ながら十分考えさせて頂きたい。



社会党

日立製作所専有工場跡地利用は地元住民の理解を

△都は区の要望を検討もせず頭越しに、下水処理場の建設を決定したが、建設にともなう「谷間住宅」の住環境などの問題解決策が不明確である。地元住民と對話集会を開け。

▼下水道局で事業決定した計画図には、区が最初に要望した事項は盛りこまれていない。ご指摘の「谷間住宅」の住環境について副知事に解決をはかるよう強調したが、近日中に責任者が説明に参るので、その解決に努力したい。

都と埼玉県の折衝の経過は(小溜井問題)

△昨年某議員が質問の中で、小溜井が足立区の行政区域であり、また埼玉県知事の申請により一級河川に指定されたことについて多くの疑問点をあげている。このことについて区長は「都の行政部が埼玉県側と折衝しているが、十分調査した上で決定すべきである」と述べている。その後の折衝の経過は

▼都の行政部に再三連絡しているが、都では地元市町村が合意に達することが先だという見解である。そこで区では八潮市と何回も折衝を重ねているが、境界は河川を中心にしたという説をまげてい



ないので今後は助役に強硬に折衝させます。また昭和44年に一級河川に指定されたが、そのとき区にはなにも連絡がなかった。

小溜井開発の具体的計画は

△小溜井は武蔵野の面影を残した数少ない自然であるが、区長はこの地勢を利用して「葛西用水を導水して釣り場にした」と答弁している。将来開発の展望があれば伺いたい。また小溜井の問題については特別委員会をつくって解決すべきである。

▼将来の開発について自然公園と釣り堀にしたいという考えは変わっていない。境界の件についてはできるだけ早く区の方だけで処理し、施設の開発、その他については特別委員会の力が必要であると思う。

助役の複数制を實施せよ

△当区は日立専有工場跡地利用問題をはじめとして、舎人森林公園、下水道建設など解決すべき多くの重要問題が山積しているが、これら膨大な事務事業を能率的に推進するために助役を2人制に分業化し、涉外係として新しく助役を設けよ。

▼すでに世田谷、大田、板橋では、二人目の助役として建設関係の技術者が任命されているので、この点十分検討させて頂きたい。





公共用地確保条例を制定せよ

△土地問題解決のため大企業、大商社の横暴な土地買い占めを規制しこれらの土地を提供させるため「公共用地確保条例」制定を都に対し強く要請せよ。

▼公共用地の取得は地価が暴騰しているため困難をきわめているが、3月議会で公共用地取得に関する意見書が国に出されているので、これに沿って区議会と一体となり国並びに都に対し強く要請したい。

地下鉄九号線の車庫線を延伸せよ

△長期計画の吉川町まで延伸するプランを変更し、神明町から綾瀬川に沿って北上するコースに延伸させるため営団地下鉄と交渉せよ。



▼神明町から花畑を通って武蔵野線に至る路線については東武線との関係があるので、関係機関とも相談して十分研究したい。

乗客サービスを改善せよ

△大谷田―北千住間のバスのようにダイヤが少なく間引きする路線および終バス時間の早い路線など乗客サービスの悪い路線について改善を関係各社に要請せよ。

▼大谷田―北千住間については東武など関係機関に連絡し、間引き運転がないよ

う強く要請したい。

△大日精化工業は宅造地に捨てたスラッヂを大部分回収したというが、回収後の処理が科学的に安全な処理がなされているか。また一部回収不能になったスラッヂの処理について問う。

▼残ったスラッヂについても全面回収するよう会社側に強く要請しその確認を行ないたい。またスラッヂの処理については資源の再利用という点から鉛、クロムを再回収し無害なものにすること。あるいは法の規定にもとずき地下水などを汚染させないような方法を講ずることです

が、このたびの不法投棄について会社側に対し強く反省を求めたい。

学校管理運営費を値上げせよ

△学校管理運営費は学級数、生徒数などの基準に従って算定しているが、最近の異常な物価上昇により、年度末にならな

いでも予算を消化してしまふ。年度途中で予算を再検討せよ。

▼今年度は必要な教材が値上がりしても購入できるように対策を考えたい。また来年度については教育長会などを通じて学校運営標準費の改定を都へ強く要求したい。



千住二丁目交差点周辺の再開発は地元住民の理解を

△昭和47年2月千住二丁目交差点で交通公害の調査を行ったが、現在に至るまで結果が議会側に示されていない。加えて報告書まで出来上っていないと聞くが、住民の不安は強くなるばかりと思うので、早急に区の見解を示せ。



▼報告書にある試案は都市づくりの一つのビジョンであり、試案そのものを直ちにとり上げるつもりはない。PRについては十分検討したい。

意見書要望書 ― 要旨 ―

意見書

出入国法案撤回に関する意見書

政府は、今国会に現行の出入国管理令を廃止し、新たに出入国法を制定すべく法案を提出した。しかしながらこの法案は各種の問題を含み、特に在日外国人の90%を占める在日朝鮮公民に対して不安を与える可能性がある。よって政府が同法案を慎重に取り扱おうと共に、この法案を撤回するよう要請する。

意見書

日立製作所専有工場跡地利用に関する意見書

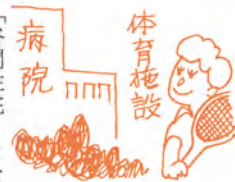
本区は左記につき関係機関に要望した。一、下水道処理場の建設は、あくまでも公害なき処理場を第一とすること。

二、広場の建設は、震災時の広域避難所となることを考慮し、諸施設の整備を行うこと。また広場は日常においては区民の憩いの場ともなるので、厚生、福祉および体育施設についても整備すること。三、工場跡地32ヘクタールの一部を区立中学校建設並びに消防施設建設用地として割り当てること。なお将来、この跡地の一部に都立病院の建設が可能となるよう予め配慮すること。

四、この跡地と中川堤防との間に所在する中川五丁目の一部地域が、下水処理場建設に伴い、いわゆる「谷間住宅」となることについて、関係住民が住環境の著しい変化に強く反発していることに鑑み住民の意向を十分は握られ、この結果を尊重し最も適切な措置を講じること。

自己利用宅地・貸地(330平方メートル以下)の固定資産税減免等に関する意見書

今回、固定資産税の適正化を理由として地方税法の改正、更に土地に対する評価替と、これに対する課税が行れた。この結果区内の土地所有者の負担は著しく増大し、社会問題化している。この主なる原因は土地の評価方法に問題があると考え



られるので評価方法を改善し、加えて小規模自己利用宅地及び貸地について固定資産税等を減免するよう要請する。

首都高速六号延伸線・足立線に関する意見書

本区は、左記につき関係機関に要望した。



一、延伸線・足立線は全線同時に供用開始のこと。
二、延伸線・足立線の側線から幅20メートルにわたり防音等のための緑地帯を設けること。

三、都市計画道路補助第113号線は自動車道、自転車道および歩道に分離し歩行者の安全を図ること。

四、都市計画道路補助第113号線をこえて河川敷グラウンドに通じる歩道橋を設置すること。

水質汚濁防止法改正に関する意見書

東京湾は死に、食膳の魚は姿を消し、鮮魚取扱業者は生活苦にあえぎ、区民の食生活の危機は一段と深刻化している。特に、東京湾に注ぐ綾瀬川、中川、隅田川、荒川など汚染河川を持つわが足立区民は重大な関心を水質汚濁に集中している。

政府においては公害対策として、従来の企業優先を福祉優先に改め、下水道施設の促進をすると同時に、現在の工場排水基準制度を改め、総量規制制度とし、

公害工場を嚴重に規制するようせつに要望する。

要望書
小・中・高併設の養護学校新設に関する要望書

近年、社会福祉増進が叫ばれている中で、いまだに多くの心身障害児は特殊施設が不足しているために、必要に応じた特殊教育およびリハビリテーションによる機能回復訓練ができないでいる。本人はもとより、保護者においても精神的、社会的、経済的に多くの負担を強いられ、また、障害児の円滑な社会復帰を困難にしているのが現状であります。よって本区は、精神薄弱児などを対象とした小・中・高併設の養護学校を新設されるよう強く要望します。



失業対策事業の賃金値上げに関する要望書

政府は、48年度失業対策事業の賃金を平均12・03%引き上げることと決定したが、これは月25日就労で平均3万4,650円の収入に対し4,168円という低額であります。47年度の卸し売り物価は1年間で11%と史上最高の上昇を記録し、今後国鉄運賃などの公共料金の値上げ等を考慮すると消費者物価にはねかえることは必至で、失業対策事業就労者の生活はますます苦しくなります。よって、一般勤労者との

格差を解消し、失業対策事業就労者が健康で文化的な生活が出来るよう、大幅な賃金の値上げを強く要望します。

要望書
小台下水処理場の公園化に関する要望書

本区は左記につき関係機関に要望した。



一、処理場を早急に蓋かけをし、上部を緑の公園にすること。
二、処理場から発生する悪臭、騒音、振動等完全に除去すること。
三、補助第91号路線と隅田川と交差する地点に早急に架橋すること。
四、処理場付近の道路を早急に整備すること。

五、足立区内から当該処理場に流入する汚水は全体の3%弱にすぎず、住民感情からも了承しがたく、早急に他区内に新処理場を建設すること。

小・中学校学級定員縮小および教職員の増員に関する要望書

昭和33年に公立義務教育諸学校の学級編成および教職員定数の標準に関する法律が施行され、小・中学校における1学級の児童、生徒数の標準が50人から45人に切り下げられ、教員についても教員定数のより一層の充実が図られてきた。しかしながら当区においては、急激な人口の増加が、児童、生徒の増加を招き、その結果一校当りの規模が巨大化している。

これは教育効果を引き下げているばかりでなく、教職員に過重な負担を強いいるといわざるを得ない。よって本区は、多くの父母の願望である1学級当りの基準生徒数の引き下げ、教職員の増員など、義務教育水準の向上について関係機関の特段の配慮を強く要望します。

無認可幼稚園児(4・5才児)補助金交付に関する要望書

就学前の幼児に対する教育は人間形成にとつて重大な影響を与えるといわれ、その時期に家庭や幼児教育機関においていかにこれを推進し充実させるかが重要な課題といわれている。当区においては昨年度4・5才児の71%が幼稚園に就園しており、更に就園を希望しながら正規の幼稚園がない等の事情により、保育所或は無認可幼稚園に通わせている。幼児がいることを考え合わせると幼稚園教育の義務教育化の傾向は一層強まるものと思料します。これら就園希望する幼児のために、区内には無認可の幼稚園が何園か設立され幼児の教育に当たっています。

しかしながら保育料が年々高くなり、父母の経済的負担は大なるものがあります。幸い昨年12月都議会において私立幼稚園児に対する補助金の支出が決定し、父母の負担の軽減がはかられました。よって、本区は無認可幼稚園児に対しても補助金を交付されるよう強く要望します。



採択されたもの

- 竹の塚中学校学区内通学路対策(2項)
- 校地拡張Ⅱ花保小
- 学級定員縮少および教職員の増員Ⅱ小学校・中学校
- 児童遊園設置Ⅱ梅島三丁目地域
- 児童公園設置Ⅱ梅島三丁目地区
- 小台処理場の公園化(2件)
- 花畑団地自治会幼児教室(4・5歳児)に補助金
- 花畑地域周辺保育園建設
- 第十七出張所分室跡地零歳児保育施設設置
- 老人クラブ連合会に対する助成金増額
- 長期計画第八ブロック地域内老人いこいの家建設
- 開業医の日曜・祝祭日に執務
- 区立図書館の人事
- 堤北地区消防署増設
- 自己利用宅地・貸地(百坪以下)固定資産税免税要請
- 青井三丁目5番戸塚高压跡地マンション建設反対(3項)
- 区道認定Ⅱ梅田七丁目16―19先
- 道路舗装Ⅱ六月一丁目22―23先
- 水路整備Ⅱ西保木間一丁目16先
- 水路蓋かけ(2件)Ⅱ伊興町本町3,117先
- 水路改修Ⅱ花畑町3,856

- 街路灯設置Ⅱ本木二丁目30先
- 東武鉄道高架下通路設置等
- バス路線の復活並びに増発等
- 東武バス「大谷田―北千住」路線の運行改善

不採択となったもの

- マンション建設反対
- (理由)Ⅱ請願の趣旨にそいかねる。
- 水路蓋かけⅡ加平二丁目25先外
- (理由)Ⅱ一項Ⅱ現段階において実現困難である。



宮城小学校を視察する総務委員会

- U字溝設置Ⅱ神明町330先
- (理由)Ⅱ現段階において実現困難である。
- 水路蓋かけⅡ保木間第四都住
- (理由)Ⅱ現段階において実現困難である。

継続審査となったもの

- モーター建設反対
- モーター「しらかば」増築反対
- 岡埜榮泉中高層アパート建設反対

- 中央本町スカイハイツ建設反対等
- ガソリンスタンド建設反対Ⅱ千住旭町1―21先

- 青井三丁目5戸塚高压跡地マンション建設等(1・2項)

- 千住河原町21高層共同住宅建築工事許可延期要請

- 西保木間一丁目的工場跡地マンション建設反対
- 竹内コーポ・竹の塚コーポ建設反対

- 千住二丁目62サウナ風呂建設反対
- 日本アマチュアレスリング会館建設促進
- 日本アマチュアレスリング会館建設反対

- 日立亀有工場跡地利用(4件)
- 日立亀有工場跡地対策

- 竹の塚中学校学区内通学路対策(1項)
- 寺井サッシ工業所の公害防止

- 千住曙町地先旧牛田堀官地の拡張整備及び利用
- 牛田堀土揚敷占用地の払い下げ促進

- U字溝設置等Ⅱ中央本町二丁目14先
- U字溝設置Ⅱ江北四丁目4―1先
- 側溝改修Ⅱ江北三丁目4―5先

- 水路改修Ⅱ古千谷五丁目3―13先
- 失対労務者日雇健保法定額期後公費負担

- 地代家賃統制令告示「改正」撤回および廃止反対
- 青年館増築に伴う第九出張所庁舎の増併設

- 江北一丁目都営住宅内自転車置場拡張
- 1人ぐらしの老人(65歳以上)などに対する福祉電話設置

幹事長さま

党および党派名	幹事長	副幹事長
党および党派名	(共産党は団長)	(共産党は副団長)
自民党区議団	常田進再	田口三五郎新
自民党清新会	古性直再	近藤弥之吉再
自民党刷新同志会	鈴木進再	清木大蔵新
公明党	岡安孝明新	鈴木金治郎再
社会党	白石恭三新	小久保雅捷再
共産党	榊原茂再	吉田小重郎新
同友会	佐藤英一郎新	浅見喜一郎新
注(再)は再任(新)は新任		渡辺康信再

住所が次のように変わりました。

- 白村益治郎 西綾瀬一丁目2―23
- 倉持伝次 西新井栄町三丁目7―9
- 白石恭三 西新井栄町一丁目8―6

議員の辞職

今会期中に近藤信好議員、8月2日付で岩満久治議員が辞職されました。

会派結成届

同友会が結成されました。

幹事長Ⅱ佐藤英一郎

区議会だより編集委員が次のように変わりました。委員長Ⅱ佐々木弘吉

副委員長Ⅱ岡安孝明、浅見喜一郎

委員Ⅱ白石正輝、渡辺修次、藤木二幸

次
の
議
会
は
今
月
の
中
旬
以
降
に
開
か
れ
ま
す